

自然のゆりかごのようなまち

祁答院町



13 田の神戻し

蘭牟田地区では、子孫繁栄・五穀豊穡などを願って、毎年4月10日に麓集落と中原集落で「田の神戻し」が行われます。これは、新婚家庭で1年間預かった田の神に化粧をほどこし、次の新婚家庭に引越しさせるもの。写真愛好家もたくさん訪れます。



東郷町

人情味あふれる
自然の恵み豊かなまち

9

にんぎょうじゅうり
人形浄瑠璃

正式には「東郷文弥節人形浄瑠璃」と言い、300年以上の昔から継承されてきた非常に貴重な伝統芸能で、国の重要無形民俗文化財に指定されています。この貴重な文化を後世に伝えるため、平成8年には「子ども人形浄瑠璃」が結成され、日々練習に取り組んでいます。



祁答院まかどこ インタビュー

ながの はえこ
永野 萌子さん
86歳
ベッコウトンボを保護する会代表

①地域(地元)のいいところ

やはり地元を代表する蘭牟田池。歌碑・句碑に代表されるよう自然が豊富で、ラムサル条約登録湿地になっています。また、ベッコウトンボの生息地で唯一の保護区にもなっています。

イベントなどでは、マラソン、花火、田の神戻し、釣り大会、鬼火たき、温泉、そうめん流し、ナシ・ブドウ(観光農園)などがあります。

②地域の未来像(こうなってほしい未来像)

- 自然と人間が共生する癒やしの里
- 訪れた方が四季折々の植物(ウメ・サクラ・アジサイ・ツツジ)や緑陰・涼風・温泉に心の安らぎを得て、命を伸ばして帰られる所

③自分の一押し観光スポット・行事

- 蘭牟田池県立自然公園
- 世界一郷水車
- 第22回全国トンボ市民サミット薩摩川内大会(平成23年5月14日・15日開催予定)



ベッコウトンボ 15

ベッコウトンボは、体や羽の色がその名のおりベッコウ色であることが特徴です。しかしベッコウ色であるのは、ヤゴから羽化してトンボとなった未熟な時期だけで、成熟すると黒色に。4月下旬～5月上旬に多く見られます。



16 ほおずき市

毎年7月中旬ごろに地域特産品直売所「祁答院ロード51」で開催されます。地元の農家が大切に育てたほおずきはだいたい色が鮮やかで形も良く、市内外から大勢の方が買い求められ、祁答院の特産品として定着しています。



東郷まかどこ インタビュー

くわは た かげみ
桑波田 景美さん
72歳
漁業

①地域(地元)のいいところ

豊かな水量を誇り、鮎・カニなど水産資源も豊富な川内川。また、地区の中心から一歩足を踏み入ると、山々の間に広がる水田や、ブドウ・ナシ・イチゴの観光農園があり、水と緑が豊かに調和しているところ。そしてそこに住む人々の人情味あふれるところ。

②地域の未来像(こうなってほしい未来像)

川内川を生かした観光業を展開してほしいですね。例えば東郷温泉「ゆったり館」と川内川河畔とをロープウェイなどで直接結び、施設利用者の方に鮎漁の見学やカヌー体験をしてもらうなど、川に触れて欲しいです。また、私たち自身も、地元産の鮎の販売などを将来的に展開していけたらと考えています。

③自分の一押し観光スポット・行事

やはり川内川ですね。豊富な水をたたえてゆっくりと流れる様子は、見る人に安らぎを与えてくれると思います。また、9月下旬から11月にかけて行われる鮎のガラカケ(コロボシカケ)は昔から行われてきた漁法で、川内川の秋の風物詩となっています。



10 藤川天神

学問の神様といわれる菅原道真公を祭った神社です。受験シーズンには合格祈願の受験生やその家族ら多くの参拝客でにぎわいます。境内には、国の天然記念物に指定されている「臥竜梅」もあり、開花時には多くの観梅客が訪れます。

観光農園 11

東郷は「フルーツの里」と呼ばれるほど果樹栽培が盛んです。春のイチゴに始まり、夏場はブドウ、秋はナシ、冬はミカンなどが収穫されます。特に夏場に開園するブドウの観光農園は、もぎとり体験を楽しむ親子連れなどでにぎわいます。



12 鮎釣り

海の水と川の水がちょうど交わる東郷地域は鮎の産卵場所となっており、古くから絶好の釣り場として有名です。毎年9月下旬から11月にかけてのたそがれ時は、伝統の漁法「ガラカケ」で鮎釣りを楽しむ姿が見られます。